

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ふれも・白井 放課後等デイサービス

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 76

回収数 61

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	16	4	0	はい ・スペースが開かれ、個人がある程度集中できると思う。 ・ついたてを置いて、個別のスペースを作り、集中できる空間を作られていると思う。 どちらともいえない ・部屋のスペース上個室があまり確保できないのが残念です。 ・活動スペースとしては少し狭い気がします。 ・指導の順番を待つスペースが室内にあれば、と思います。 いいえ ・色々な子どもを見ているから多少の声とかは仕方ないが、ずっとさけび声が部屋中に聞こえていて、集中できなくなる	・子どもの特性に合わせて、支援室の広さやレイアウトを工夫しています。 ・ST室OT室は個別療育の他にもグループやイベントで使用でき、プランコやトランポリンなどで身体を動かして遊ぶことが可能です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	45	11	3	2	はい ・個別なので1対1でできています。 ・おもちゃの場所など、シールで置き場をわかりやすくする工夫がされており良いと思う。	・利用者のニーズに合わせて多職種で連携を行い支援しています。 ・専門性向上のための研修を定期的に実施し、意見交換等を通して、支援・療育を行うためのスキルを身につけています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50	10	1	0	いいえ ・色々な子どもを見ているから多少の声とかは仕方ないが、ずっとさけび声が部屋中に聞こえていて、集中できなくなる。	・当施設は2階であるため、建物1階の共同出入口は車いす対応等の支援が必要になります。保護者と連携し、来所時には職員がドアを開けるなどの支援等を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	58	3	0	0		・毎日決まった時間に清掃の時間を設け職員で施設内の安全点検などの確認を行っています。 ・グループ活動や個別の支援後に、使用したおもちゃや遊具、子どもの活動場所の消毒と換気必ず行なっています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	60	0	1	0	はい ・最初に何をやるか提示され、順番に進められている。 ・面談した内容を優先していき、子どものもびのび活動に取り組んでいる。	・放課後等デイサービス計画作成会議を通して、職員全員で子どもの特性を多角的な観点で話し合っています。その結果に応じて、支援計画を作成し療育に反映されています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	55	1	1	4	どちらともいえない ・くり返し行うことは良いが、数か月も同じものを行うのはどうかと思ってしまう。	・支援プログラムは事業所の理念に沿い、子どもの実態に合わせて内容を作っています。子どもの療育内容はこれに基づいて作っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	56	3	0	2		・放課後等デイサービス計画は、Plan（計画）、Do（実行）、See（評価・見直し）の3つの過程を回すことで、子どもの実態に応じた計画となるように作成しています。 ・評価・見直しの際には、モニタリングを行うことで関連機関の助言や保護者の要望を反映しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	52	3	0	6		・放課後等デイサービス計画は、入所が確定した時点で、子どもや保護者の希望や課題を踏まえて、適切なサービスが総合的に提供できるように作成しています。 ・児童支援利用計画は半年ごとに見直し、子どもや家族の希望する生活の実現に向けて、障害福祉サービスが有効に活用できるように作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	56	0	0	5		・放課後等デイサービス計画を受けて、個別支援計画を5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）から作成し、具体的な支援内容を明記しています。支援者は、支援計画に沿って支援にあたり、随時、保護者に支援状況を報告しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48	8	0	5	どちらともいえない ・同じ活動を行っているの で、子どももマンネリ化してしまっている。	・個別支援計画の長期目標とそれを目指すための短期目標に沿った課題（プログラム）を進めます。 ・支援の内容（プログラム）について、客観的に振り返る方法の一つとして、支援中は、保護者の同席をお願いしています。支援終了後には、保護者や子どものとの会話を大切にし、支援内容の継続・変更について情報共有する時間を取っています。 ・子どもの特性によっては毎回同じことをして少しずつ変化をしていく方法をとっています。 また数回同じことを行うことで、子どもの成長の目安にすることもあります。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	20	23		・こども達は、保育所や幼稚園で普段交流しています。更に、コロナ感染症が5類に移行となり、こどもたちの交流が活発になってきました。また、こども会、お祭り等を通して、地域の中で触れ合う場も多様化していると感じます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	56	2	0	0	はい	・こどもの支援の時、他の方にきちんと説明を受けた。 ・利用開始の契約の締結に際し、保護者に対する利用についての説明は、児童発達支援管理責任者から、利用手続きや、利用者負担額等について、分かりやすく丁寧に説明しています。 ・納得して頂いた上で契約をおこなっています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	54	2	0	5		・半年毎に放課後等デイサービス計画を見直し、卒業を保護者様に説明し話し合いを行っています。話し合いの結果を反映した最終版に保護者様の了承のサインをいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	55	2	0	0	はい	・保護者会、勉強会などあるようだ。わからない・平日開催の場合は参加が難しい。 ・子育てサポートや家族支援が必要と思われるケースは、個別支援計画に明記し、計画的に家族支援が行われるようにしています。 ・令和6年度も、継続してペアレントトレーニングを行っています。また保護者勉強会も定期的に行っています。今後は案内の周知をさらに徹底していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	56	3	0	2	はい	・終了後に先生と保護者で話す機会がもうけられている。 ・療育の際は保護者に同席をお願いし、課題の目的や今後の見通しなどを分かり易く伝えていきます。 ・療育の時間以外にも面談の希望があった場合には、迅速に面談の時間を持ち相談できるように環境を整えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	7	3	3		・6か月ごとに、個別の支援計画を見直す機会として、モニタリングを行っています。その際に、育児についての助言等も行います。 また、保護者面談は、必要に応じて随時実施しています。こどもの様子や課題に関して保護者面談をすることもあります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	59	2	0	0		・支援者は療育に当たる際に、保護者やこどもの気持ち(困り感)に寄り添うよう心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37	7	1	16		・年に2回保護者会を開催しふれも・白井の運営方針や、連絡事項について情報を発信しています。 ・きょうだいまー娘のイベントを行っています。お便りとネットで開催の周知をしていますが、療育時の案内も徹底し利用者様に周知できるようにしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	54	1	0	6		・相談を受けた保護者には後日支援時に結果報告をし、保護者やこどもの気持ち(困り感)に寄り添うよう心がけています。 ・電話での要望・意見があった場合緊急性があれば、即時に対応します。また、保護者から相談があった際は、内容に応じて管理者やセラピスト(専門職)が相談にのっています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	56	2	0	3		・支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から感想等を聞き取り、必要であれば支援に繋いでいます。 ・こどもの成長に合わせて、保護者の子育てに関する悩みを聞き取り助言等しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	52	4	0	5	はい	・LINEで通知が見られる。 ・「ふれもだより」(広報紙)を毎月保護者あてに発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。全体への連絡は書類の他にLINEを使用し、迅速に情報を配信しています。 ・業務に関する自己評価については、ホームページに掲載しています。今後も、継続して取り組みます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	57	2	0	2		・利用者の名前や個人情報を保護するために事業所内で個人情報保護・漏洩防止についての研修を随時行っています。法令等の確認にとどまらず、事例検討的に研修をしています。そして、職員間で厳重に注意喚起を行っています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	7	1	16		・業務継続計画(自然災害・感染症)・各種緊急時対応マニュアルを保護者待合室に置き、いつでも閲覧できます。また、広報紙への掲載や保護者会等で、緊急時の対応について情報提供しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	8	1	21	いいえ	・保護者側はわかりません。 ・職員は月に一度避難訓練を行っています。利用者とは年に一度、施設内避難訓練を実施しています。個別・グループ支援の際に避難経路の確認や防災頭巾の振り方などを練習しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	8	0	10		・毎月の「ふれもだより」を通じて、定期的に行われている衛生管理、安全点検、及び防災訓練を通してこどもの安全の確保には十分に配慮しています。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	7	0	13		・事故時の対応としては①ひどい怪我の時には県に一報する。②頭をぶつけたら、病院受診のお勧めを保護者にします。その際にはスタッフがついてタクシーで行くこと。③夜にその後の様子を電話で聞くこと。④報告書に記入すること。の手順が定められており、そのように行動しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	61	0	0	0	はい ・先生と対話しながら安心してきている。きちんとやる事を明確にされている。 ・親だと、どうしても感情的になってしまう場面がありますが、先生とのやりとりは安心していると思う。	・運動療育や遊びを通じた療育について、こども達が指導員に対して信頼感と安心感をもってプログラムを進めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	57	3	0	1	はい ・いつも楽しみにしている。 ・楽しみというか、自分にとって必要なプログラムだと思い、取り組んでいると思う。 ・以前と違った活動内容にしているのので、こどもも「今日は〇〇やりたい。」と言える環境になり、楽しく通所している。	・こども達が「もっと来たい」「楽しい」と思えるように環境の設定や幅広いプログラムなど支援内容を充実させていきます。 ・こどもの「できた」を保護者と一緒に喜び、専門的な支援で家族を支えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	58	3	0	0	どちらともいえない ・希望利用日数と合っていないので、もう少し利用できるとうれしいです。	・利用者のニーズをその都度確認し、一人一人に合った療育の頻度や専門的な支援を提供できるように職員一同スキル向上に努めます。 ・相談しやすい環境づくりを行い、利用者や保護者に安心して通えるような施設作りを行います。